	ページ	意見（公開用）	市の考え方
1	P9	松阪の観光施策は、「当市としてのプラン」は必要ですが、三重県の立地的な条件 ①縦長の地形 ②各市に街道上の歴史的つながり ③各市が均等距離（30km）に立地 ④主要道路が二本のみ などから「県内各市のプラン」をネットワークのメリットを活かして「トータルで立案」しなければ、全国にアピールできない。その為に、伊勢神宮への観光客約1000万人を無駄に素通りさせている。	本市の観光振興ビジョンの策定にあたっては、三重県の特性から広域での観光は重要と考えております。そのことから「三重県観光振興基本計画（令和2（2020）年度～5（2023）年度）」を参考にしながら策定しています。ご意見は参考にさせていただきます。
2	P16 P19	観光客のおもてなしについて（観光客のアンケートより） ①松阪は、ツアーの道順を楽しく知らせる「案内看板」が、少なく不親切である。 ②沿道（商店街）などの市民の皆さんの「声かけ」が、嬉しい。（例えば、「素敵」とか「よく似合う！」とかの声かけ） ③商店街に「休憩の椅子」「カフェ」が少ない。 ④地元産品のお土産店が少ないので、各業種店でその店オリジナルのお土産グッズ、例えばその店独自の松阪もめんグッズが、いろいろあると町もにぎわうと思う。 ⑤楽しい町の案内パンフが欲しい。グルメ案内、イラスト入りの道案内	①については、Ｐ19「1-1 観光環境の整備」で記載のとおり、旅行者目線に立った受入態勢の整備に取り組みます。 ②、③、④については、P25「3-2 市民の観光意識リノベーション」で記載のとおり、関係者などと共に取り組みます。 ⑤については、P23「2-2 情報発信力の強化」で記載のとおり、旅行者のニーズに合わせた情報発信に取り組みます。
3	Ｐ19	（1）旅ナカ環境の整備・充実 我々日本人は、温泉大好き人間です。その点、松阪には飯高の湯しかありません。市内から遠い。湯の山や榊原より有名でない。では、集客は困難ではないでしょうか？又、1500ｍの地下を掘れば暖かい湯が湧出されます。例えば、四日市に「●●●●●●●●」があります。高齢者の憩いの場になっております。当初は、働く者の娯楽施設として発足をしましたが、専門業者に代わり大成功です。民間の業者の力を、又、観光大使をもっと必要では。我々のような団塊の世代は、●●●●●●●●●●●●●●●●●ですが、若者は●●●●彼女は、拒否しているようですが、又タレントの中で、我々がPRしたい分野での趣味人や得意分野の活用も必要では。 ※裏千家の今日は、蒲生氏郷が少年を助けた事で、三千家在り。伊勢茶のPR、茶業会館のPR。裏は、小津、長谷川、長井。表は、三井抹茶松阪大会の企画は。	集客のための観光施設の整備は、有効な手法の一つです。また、民間の力を活用することも重要です。現段階では、ご提案いただいた施設の整備は市では予定しておりません。 また、PRに関しては、P23「2-2 情報発信力の強化」で記載のとおり、効果的な情報発信に取り組んでいきます。いただいたご意見は、今後の事業展開の中で参考にさせていただきます。
4	Ｐ19	「旅先に選ばれ続ける観光地『松阪』」に提言いたします。 去る平成28年10月に津市で行われた「歴史研究会」主催の資料集で、松阪市出身の●●●●●●●●が述べられた言葉に、「・・・。これは県民性かもしれません。風土的にも気候温暖で災害も比較的少ない。そこにお伊勢さんがありますから全国津々浦々からほうっておいても人が集まり、商売も自然と盛んになる。（中略）その分、より積極的な売り込みが上手ではないかも知れません。（以下略）」と書かれています。これに私が加えますと、戦国の世、織田信長に攻められて以来、他県のように武将を称する文化がなくなり、特に松阪は後に商人が繁栄したため、豪商や学者たちをアピールするようになる。そのため蒲生氏郷公以降の歴史を主に伝えてきた感がある。しかし、全国の旅人は印象の柔い、或いは手をこすりながらの商売人には、あまり興味を抱かないのが本音のように見えます。他県では信長をはじめ、武田信玄・上杉謙信・毛利元就などの強くたくましい武将の生きざまなどに強く惹かれて旅しているのが実情の様です。 松阪にはかつて北畠氏が居て230年に亘る政治を行ってきたが、史跡が他の市町村にまたがり尚、松阪城主の氏郷公と敵味方に分かれて戦ったため、同じ市内の歴史にいびつが生じてきた過去があります。 しかし、他県から観光客を呼び寄せるためには、今こそこのわだかまりを解き放し、他町村との連携を築く時期が来たように思います。 不肖、私が今回この松阪の射和にゆかりがあるとされた、北条早雲のことについて調べました。足利義視公と共に津市の小倭から松阪の平尾に宿泊し、義視はこの浜で「おもはすよ　都の月の後の名を　伊勢の浦はの浪にみんとは」と歌を詠みました。（此の碑も建てる必要がある。）この後、早雲（幼名を宮千代丸）は射和の富山家で養育され武術や医学を学んだ可能性が高いことが判明しました。このことで、射和の国分家は松阪市が応援してくれれば、我が家の駐車場に碑を建てることもやぶさかでは無いと興味を示して居られます。今回の調査で、今まで巷間に流布した早雲88才没が、黒田基樹氏・駿河台大学副学長の発見により、64才没が明白となり、ほぼ定着して参りました。これによって、これから全国的な北条早雲ブームが巻き起こると考えられます。今回、いち早く私たちが幼名の発見に至り、「歴史研究」で連続発表にこぎつけました。近々、改訂版「北条早雲の真実」（A4・216P）を公表いたします。是非、松阪市でも検討され小田原市をはじめ、全国から歴史探索のお客さんを呼び寄せる対策をお願いする次第です。	本市の歴史・文化を観光資源として活用することは、観光戦略として重要です。P19～P21「1-2 観光資源の磨き上げ」、「1-3 観光資源のブランデング」に記載したとおり、活用していきたいと考えています。 いただいたご意見は、今後の事業展開の中で参考にさせていただきます。

	ページ	意見（公開用）	市の考え方
5	P 19	第4章　基本戦略と方向性 1－1　環境の整備 １行目～2行目 特にトイレについて 旅行者目線に立った受け入れ態勢が必要と考えます。 5行目～６行目 観光協会、観光施設、協会員の方、ガイドボランティア、市民の方との連携し旅行者目線を取り入れた研修が必要と考えます。	P 19「1-1 観光環境の整備」で記載のとおり、トイレ等の施設整備を順次進めていきたいと考えています。また、受け入れ態勢の構築については関係団体・観光事業者などと連携して取り組んでいきます。
6	P 19	1-2　観光資源の磨き上げ 2行目 松阪には、神社・仏閣などの数多い魅力的な歴史・文化遺産があります。 松阪+伊勢の国、伊勢国の松阪として広い目線で古事記的また宣長さん的ポイントを記して説明されたほうが興味を持たれ、客を引き付けるストーリーテングになります。そうすることで松阪で時間消費がされ、物販、飲食への消費にもつながります。	P 19「1- 2 観光資源の磨き上げ」で記載のとおり、文化財、偉人などの観光資源を、相互に関連付け、資源の磨き上げに取り組みます。いただいたご意見は、今後の事業展開の中で参考にさせていただきます。
7	P24	観光振興施策は、「ハード」の「観光施設」だけでなく、その施設のいろいろな背景としての「ソフト」を「ストーリー」としてまとめあげ、観光客にアピールすることが、一番必要です。 そして、各市、各地域の独自のストーリーを競い合い「トータルストーリー」としてまとめ、「伊勢街道コットンロード・ストーリー」として三重県より全国にアピールすることが、松阪市も注目されると考えます。	P20「1-3 観光資源のブランデング」、P23「2-2 情報発信力の強化」で記載のとおり、観光資源の背景を意識して、ストーリー性を持たせてブランデングすることや、定型の観光情報の紹介だけでなく、体験記事などでの発信に取り組んでいきます。いただいたご意見は、参考にさせていただきます。
8	P24	観光は、「見学型」だけでなく「体験型」観光がベスト。（観光客のアンケートより）	P21「1-5 市内滞在時間の延伸」の1行目の「事業者と連携した」の後に「体験型などの」を追記させていただきます。
9	P24	松阪市の観光タイトル「豪商のまち」ではなく、「江戸」「粋」「藍」を中心に一般にとっつきやすいタイトルを考えてはどうでしょうか？	観光では「豪商のまち」のネーミングを長く使っており、今後も市民にも親しまれるよう継続して使用していきたいと考えております。いただいたご意見は、参考にさせていただきます。
10	P 25	3-2　市民観光意識リノベーション （戦略の概要） 1～6行目の4行目 市民が地域を知る、学ぶ、体験する機会を諸団体と連携し、地域学習、社会見学など 1、まちづくり団体、自治会連合会、地域の方 2、子どもたち　※教育委員会を通じて 先行不明のコロナ渦の中、移動も限られるので、出張説明も取り入れ関心を引き、これらがシビックプライドを高め、SNS等を使って他地域へも広げることができると考えます。	P 25「3-2 市民の観光意識リノベーション」で記載のとおり、関係団体との連携や地域学習の機会を通じて取り組んでいきます。いただいたご意見は、今後の事業展開の中で参考にさせていただきます。
		選ばれ続ける観光地『松阪』 はじめに 松阪観光交流課は観光振興ビジョン素案をまとめその中に《未来像と基本戦略》が有り、広く市民からの意見を募集している事を知り微力ながら松阪市の観光資源開発について、意見を述べさせて頂きます。何らかの参考になれば幸甚です。 松阪市内に在る既存の観光資源の活用では、今後［観光松阪］を旗揚げしたとしても限度があると思慮いたします。松阪市には以前お伊勢様に行く観光客の1割でも良いから松阪市に立ち寄って頂きたいという願望が有ると聞きましたが、松阪市に寄ってからお伊勢様に行ってもらえるようにしては如何でしょうか。 この観光開発は、年間200～250万人の観光客の訪問を想定して居ります。コンサートホールの開発をすればそれ以上です。 尚、伊勢志摩地方の年間観光客は800万人と言われております。 三重県には、鳥羽。伊勢志摩地方をはじめとして多くの景勝地、観光地が有ります。 松阪市内には、観光開発をする適性地が有ります。壮大な観光開発になりますので松阪市を中心に民間会社の協力が必須になると思慮致します。 １、観光開発 　松阪市射和地区（特に御麻生薗地区を中心に）には約4Kmにわたって海抜200～300ｍの山々が連なっておりますが現在は雑木が多く収益はありません、所有者は固定資産税を支払っているのみで、収益にはなりません。一部ソーラー発電設備が有ります。この山林の観光開発を行う事で松阪に年間20億から25億の収入が有ります。	松阪市が目指すべき10年後の未来像として「旅先に選ばれ続ける観光地」を掲げ、そのことから、観光客の情報を分析・活用することで、効果的な観光プロモーションを展開し、旅先として選ばれ続けることで地域産業の活性化と持続的な成長につなげるとしております。 　目標の実現にあたっては、伊勢志摩地方や、近隣市町との連携した取り組みも必要であると考えています。今後も魅力的な観光地を目指し取り組みを続けていきます。

	ページ	意見（公開用）	市の考え方
11	全般	（1）松阪桜街道の建設 この山々の頂上付近に道路（往復2車線、中央分離帯、道路の両側には歩道を建設し歩道の両側と中央分離帯に桜を植えトンネル状に桜を仕立てます。植樹する部分の地下2～3mに大きな石がない事を確認しておく必要です。石が有ると樹木は成長しません。 観光バスと歩行者はこの桜のトンネルの中を約4kmにわたり走るのです。 このように、桜のトンネルの中を観光バスや、歩行者が通る観光地は他に無いと思います。人気が出るかと、間違いありません。 また、山林の中に道路を建設する事により山林が崩れて土石流の発生を防止できる利点があります。（松阪市のハザードマップによると、この地区は土石流が発生します。） 道路建設が完了したら、次に山林の雑木を伐採しその後に桜、紅葉を植樹する事によって山全体が桜の山、紅葉の山となり観光客を魅了する事でしょう。 （2）松阪紅葉街道の建設 もう一方にも同様の道路を建設し、紅葉のトンネルを建設します。根元周辺には、あじさい、さつき、つつじ、ダリア等を植え観光期間を長くしましょう。また、場所によっては南高梅を植え梅まつりも出来と共に梅の収穫も出来ます。 桜街道、紅葉街道の収入は入場者200～250万人として入場料1人あたり1000円として20億から25億の収入になります。この建設が、一段落したら、全ての雑木を伐採して山全体に桜、紅葉を植樹します。 観光期間以外はサイクリング道路として一般に開放します。 競輪選手のトレーニングロードとしても開放しては如何でしょうか。松阪での競輪選手の合宿希望者が多くなり、トップクラスの競輪選手養成に寄与できます。競輪選手のロード走行は競輪選手の持久力、瞬力の向上につながり、全国の競輪選手の憧れの的となります。しいては松阪競輪の収入増加につながります。 2、駐車場、昼食の取れるレストラン、おみやげもの売場、露天商の場所の確保 1）昼食用のレストラン 　松阪は牛肉が有名ですので、牛一頭を丸焼きにすることは出来ませんので、枝肉を焼き肉用のタレに一晩つけてこれを串にさし竹炭で時間をかけて肉を電動で回転しながら焼きそえ切りにしてお客様に提供します。肉の回転速度は火力の強さによって、回転速度を自動で調整します。また炭の火力は送風機を使い、自動で火力を調整出来る様にして、自動で肉が焼きあがる様にします。 パエリヤ鍋直径2mくらいのものでパエリヤを作りお客様に提供します。ラザニアを提供します。ピザ窯を作りピザをお客様に提供します。ピザ生地、ピザソースも自家製とします。野菜類はJA松阪に提供して頂きます。 以上の様なレストランを建設し、松阪は昼食を中心に接客し、伊勢志摩地方は、宿泊、夕食、朝食を中心にし、すみ分けします。 松阪地方には、観光客の宿泊施設が十分で無いと思います。 2）昼食レストランが無理な場合 　無理であれば松阪市内の弁当業者から弁当を取りバスの近くで弁当を頂ける場所を確保します。これらの建設用地が付近には有ります。 3、職員の雇用 　この施設の職員は障害者を優先的に雇用し障害者の福利厚生の向上に努める。障害者は親が亡くなると自力で生活する事になり大変です。第二には定年退職者の雇用促進に努める。 4.桜、紅葉の、その他の苗木の育成 　地元には耕作放棄地が多くありますので自治会の協力で必要な植物を育成しては如何でしょうか。 5.道路建設 　道路は、観光バスが走ってもその重量が桜、紅葉の根に影響が及ばない様に観光バスの重量を支える事の出来る舗装にします。又道路に溜った雨水は地中に浸透する舗装にし、桜、紅葉の根の保護にあたる。 6、収益 　静岡県伊豆半島河津桜は3.5km位あり年間多い時は80万人～100万人の観光客が来ると言われております。これは桜だけです。松阪はこれに加えて紅葉、其の他も加わります。その収益は専門家に調査をお願いします。 7、開発費用と利益配分 　開発には、莫大な費用が必要ですので全てを民間の観光開発会社、銀行にお願いします。松阪市の出費は最小限にします。 利益配分は、地権者、観光開発会社、松阪市で話合います。開発会社は、松阪市内に本社が無いと松阪市に税収が入らない可能性が有ります。固定資産税のみとなる可能性が有りますので注意が必要です。	

	ページ	意見（公開用）	市の考え方
		8、当該地域のアクセス手段 　中日本高速道路にお願いし松阪市広瀬地区付近にスマートインターの建設をして頂きます。鉄道は、近鉄伊勢中川駅より桜、紅葉街道まで開設をお願いします。来松外国人は、中部国際空港、名古屋港からの交通の便も良く、旅行者の交通の利便性が良いと思慮致します。 9、コンサートホール（文化会館）、ホテルの建設 　付近には、深い谷が有り、この谷の中に大音響で大迫力の臨場感豊かなコンサートホールの建設場所に適しています。当該地域は、耕作放棄市が多く散見しています。音楽フェスは基本的に体感する事です。コンサートの半分は屋内コンサートホールとし、もう半分は屋外コンサートホールとします。境界はエアーカーテンで仕切ります。つまり、1つの舞台を屋内と屋外で鑑賞出来る様にします。屋外の部分の屋根は開閉式にします。コンサートホールの近くにホテルを建設しそのテラスで食事をしながら舞台鑑賞をします。その近くには屋外レストランを建設し屋外で食事をしながらコンサートを鑑賞します。メニューのオーダーとサービスはロボットが行います。席と席の間は、植木の垣根で仕切ります。またドライブインシアター（パークシアター）を建設し、自動車の中から舞台鑑賞します。余裕が有れば、キャンプ場を併設しキャンプをしながら舞台鑑賞が出来る様にします。 客席が広いのでオーロラビジョンを設置し、数台の大型プロジェクターも設置し大迫力で臨場感豊かに演出します。スピーカーは、天井、上部、中間、下部の四層に大口径スピーカーを設置し、大型のウーハーも会場全体に10台位設置します。大型スピーカーと大型ウーハーにより大型の太鼓の中で音楽を聴いているような感覚になります。この様な設備により、会場内のお客様の上下左右から臨場感豊かな音楽を聴くことが出来ます。これらの音響設備は●●●●●●に依頼すれば製作できるでしょう。全てのスピーカーはアンプ内蔵とします。 舞台の背景はプロジェクションマッピングで投影します。これからの舞台は演技者と楽団は同格にするのが良いでしょう。そこで、ピアノ、ドラム等、演奏者と大型楽器は楽器と演奏者が台車の上に乗り、舞台の中を走行できるようにします。今までは、どこの舞台でも楽団は舞台の奥の方に陣取っています。これを楽団と演技者を同格にし、楽団を舞台の全面に出すのです。前方客席の左右には、楽団を配置できるような舞台を建設します。楽団は3ヶ所に分かれることになる為、楽団員は指揮者の指揮をテレビで観ながら演奏を合わせます。舞台の中央には、取り外し可能な幅5m位の逆回転自由なエスカレーターを配置します。演技者は客席の中央、両サイドにレールを設置し、その上の台車に乗り、会場を回ります。 客席はリクライニングシートにします。リクライニングシートは、お客様が入場する前に倒しておくことにより、周囲に遠慮することなくリクライニング出来ます。リクライニングシートは、小糸製作が得意です。客席の左右、上部を透明なボードが覆います。 コンサートホールの使用は中立性を保ち何方でも使用可能にします。艶歌、漫才、落語、ライブ、劇団、楽団、歌舞伎、テレビの録画等なんにでも使用可能にします。付近には小川も流れており、カワニナを飼い、源氏ホタルを飼い客席いっぱいに飛ばします。また、付近にはキジも生息しており、キジを客席に放し飼いにします。 10、開発上の注意点 1）この地域には、松阪市の発行したハザードマップによると土石流が発生する地域がありますので、開発にあたっては注意が必要です。 2）この地区には、山からの沢水により水田を耕作している地区が有りますので、沢水の確保が重要です。	
12	全般	松阪駅前商店街の活性化 松阪駅前商店街の活性化は、まずは道路に設置している駐車場料金を無料にし、道路上の駐車場の管理を全て商店街に任せることです。	県道敷地であることから、市からの回答は控えさせていただきます。
13	全般	松阪の飲食店の活性化 松阪ご当地グルメを設定する事によって、県内外から観光客が訪れる事でしょう。設定については、市民の皆様から広く意見を募集して意見を聞いては如何でしょう。審査委員は市職員を含めた一般市民の中から広く募集します。応募した審査員は得意料理を一品作り互いに点数をつけ評価の高い方から採用します。又は、飲食店の経営者にお任せする事です。 私の意見としましては、第一にパエリア、第二にラザニア、第三にまぐろの兜焼きがお勧めです。応募した方はすべて自費で料理を作り審査員に提供します。松阪市は、最小限の経費執行で済ませます。松阪市役所は、音頭取りです。	P 20～P21「1-3 観光資源のブランデング」で記載のとおり、豊かな食を活かした観光に取り組んでいきます。ご意見は参考にさせていただきます。

※ご意見を公表することで、 個人又は法人の正当な利益が害されるおそれがあることから、名称等については、その一部を消去させていただいています。